

ふじた
藤田

のりこ
徳子さん



ブライダル&パーティープロデューサー。自身の結婚式に疑問を感じたことをきっかけに1998年に起業。県産品のオリジナル贈答品「讃岐おもてなし重」もプロデューサー。栗林公園商工奨励館のレストランも運営する。高松市在住。45歳。

すてきな人

カ

ツプルに寄り添い、二人らしい結婚式をプロデュースするフェアリー・テイル(高松市)社長の藤田徳子さん。「結婚式の仕事をしているというより、『ハレの目文化』を守り、日常の中に非日常的な楽しみをつくるのが私の仕事」と「使命」を語る。

今年、会社は創業20周年。2012年、藤田さんがプロデューサーとして栗林公園初の結婚式が「良い結婚式プランニングコンテスト」で全国2位を受賞。以来、瀬戸内海の島や玉藻公園、栗林公園などで地域財産を生かした「ふるさと讃岐ウエディング」を求め、全国か

らカップルが訪れる。

岡山県倉敷市生まれで、老舗劇場を営む家に生まれた。しきたりや行事を重んじる大人たちに反抗したこともあったが、今では自分が文化や歴史を語る側に。15年からは栗林公園商工奨励館のレストラン運営に携わり、外国人観光客にも魅力を売り込む。「私が大切にしたいのは、時代の流れに左右されない日本の文化」と確信している。

大切にしたいのは

時代に左右されない文化

プライベートでは、2人の子どもの母親。長女が生まれた14年前に決めた「エンドゴール」があるという。「目標は今もぶれていない」と胸を張った。